

# 環境活動レポート

2020年度

〈2020年4月～2021年3月〉



柏プラネット

(柏市廃棄物処理業協業組合)

2021年6月1日

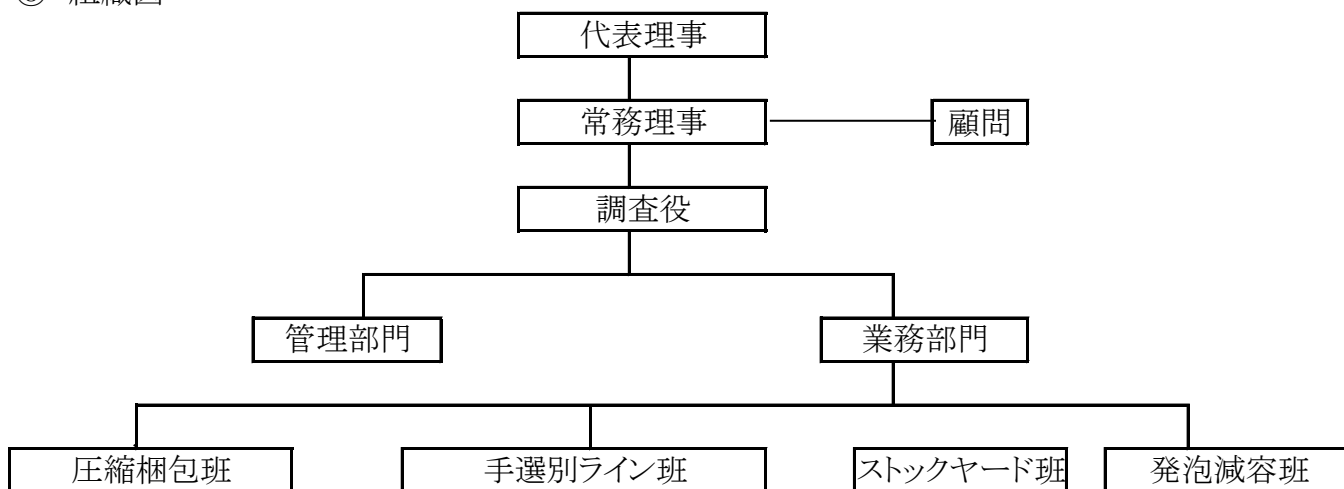
代表理事 鈴木 隆

## ■1 組織の概要

### (1) 柏プラネットの概要

- ① 組織の名称 柏市廃棄物処理業協業組合
- ② 所在地 〒277-0804  
柏市新十余二7番地8  
電話 04-7133-4501
- ③ 創立 1995年3月  
柏市一般廃棄物処理業協同組合設立認可  
(千葉県知事:千葉県経指令第3号の13)・設立登記  
柏市一般廃棄物処理業協同組合設立登記
- ④ 代表者 代表理事 鈴木 隆
- ⑤ 出資金(資本金) 300万円
- ⑥ 売上金 29,943万円(2020年4月～2021年3月)
- ⑦ 従業員 45人

### ⑧ 組織図



- ⑨ 敷地面積 7,480㎡
- ⑩ 工場面積 1,227㎡
- ⑪ 会社履歴 1995年 4月 協同組合事業開始  
1999年 11月 組織変更認可(関東運輸局 関自振第4069号)  
柏市一般廃棄物処理業協同組合 →  
柏市廃棄物処理業協業組合  
2001年 2月 新工場竣工移転  
4月 圧縮梱包事業開始(柏市委託事業)
- ⑫ 事業の目的  
・容器包装プラスチック類の圧縮保管事業、発泡スチロールの減容固件事業、ペットボトル梱包事業等の活動により、再資源化用の原料を製品化することを目的とする。
- ⑬ 事業の概要  
・容器包装プラスチック類の選別・加工に関すること

## (2) 許可の内容

### ① 一般廃棄物処理施設

- ・許可年月日 …… 2000年7月24日(第12-4号)
- ・事業の区分 …… ごみ処理施設(選別、圧縮、梱包施設)
- ・一般廃棄物の種類 …… 廃プラスチック類

### ② 産業廃棄物収集運搬業

- ・許可の年月日 2020年6月9日(千葉県第01200068684号)
- ・許可の有効年月日 2025年4月9日(積替え保管なし)
- ・産業廃棄物の種類 …… 廃プラスチック

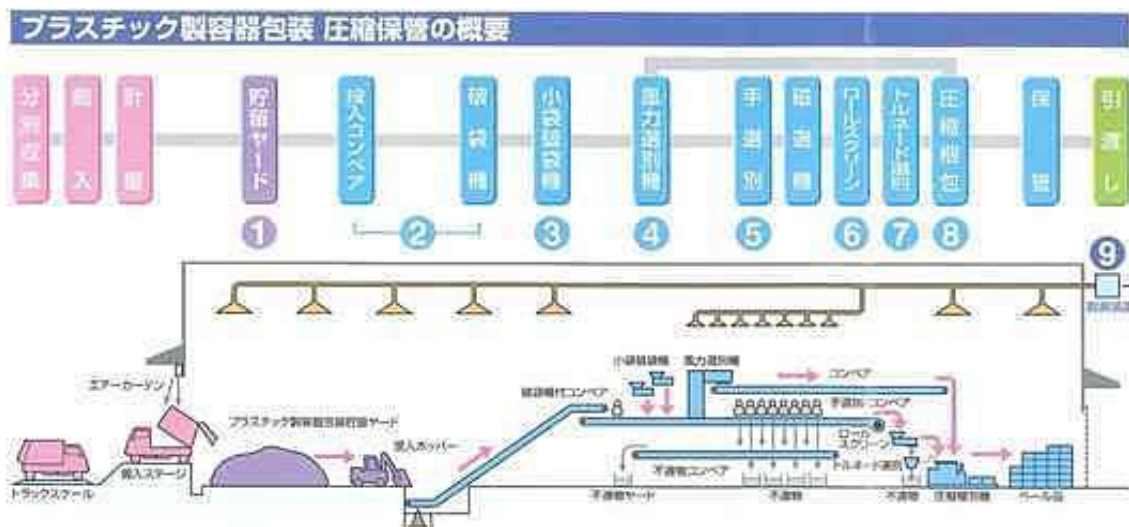
## (3) 施設及び処理の状況

### ① 運搬車輛

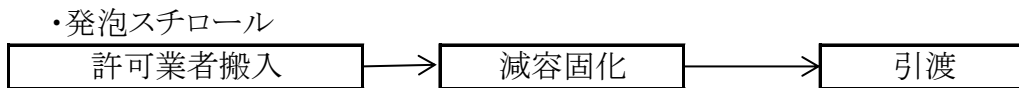
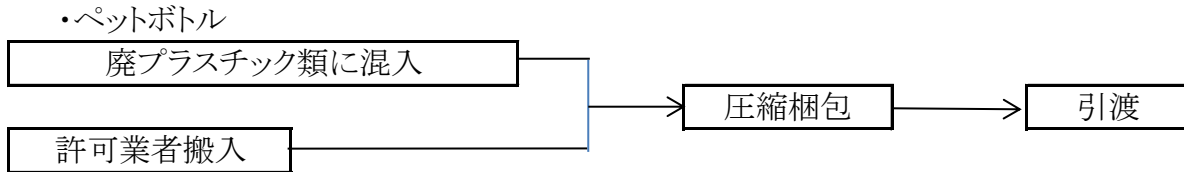
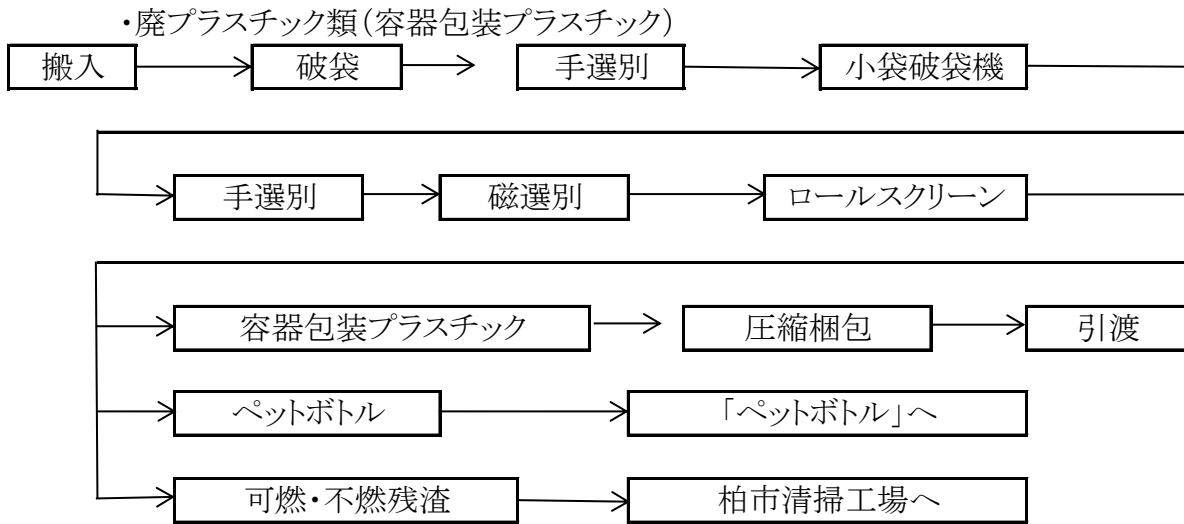
- ・柏830-5301
  - 車輛形式 : 塵芥車(パッカー)
  - 最大積載量 : 1.55t
  - 運搬品目 : 廃プラスチック類
  - 環境保全対策: なし
- ・柏830-5302
  - 車輛形式 : 塵芥車(パッカー)
  - 最大積載量 : 1.55t
  - 運搬品目 : 廃プラスチック類
  - 環境保全対策: なし
- ・柏830-5303
  - 車輛形式 : 塵芥車(パッカー)
  - 最大積載量 : 5.70t
  - 運搬品目 : 廃プラスチック類
  - 環境保全対策: なし

### ② 設備処理能力

- ・容器包装プラスチック類の選別、圧縮、梱包 32t/日
- ・発泡スチロール減容、固化 0.8t/日



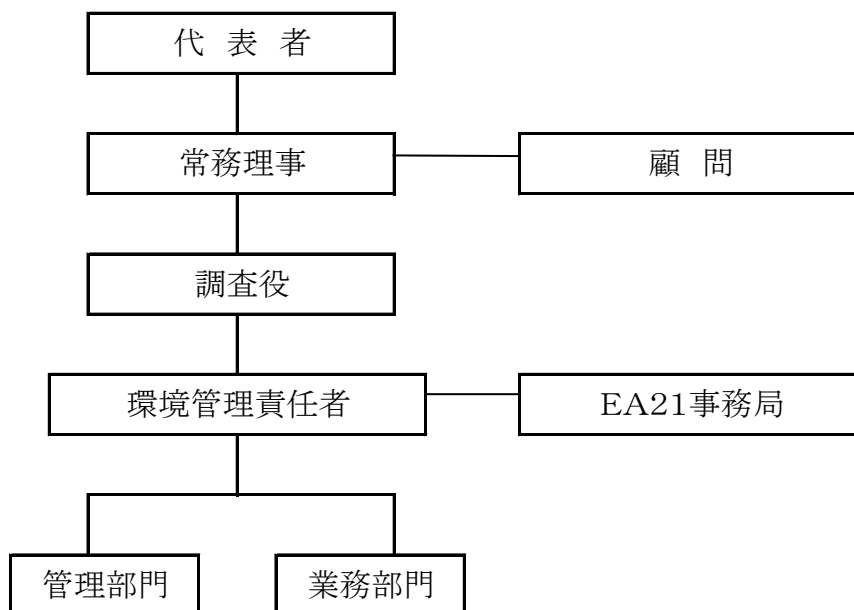
③ 事業所の処理工程図・最終処分までの処理工程(フロー)



## ■2 環境管理体制と認証・登録の対象範囲

### (1) 環境管理体制

#### ① 組織図



#### ② 代表者

氏名 代表理事 鈴木 隆

#### ③ 環境管理責任者

氏名 常務理事 大竹 正 祥  
連絡先 〒277-0804 柏市新十余二7番地8  
電話 04-7133-4501  
FAX 04-7132-0255  
E-mail ootake@k-planet.org

### (2) 認証・登録の対象範囲

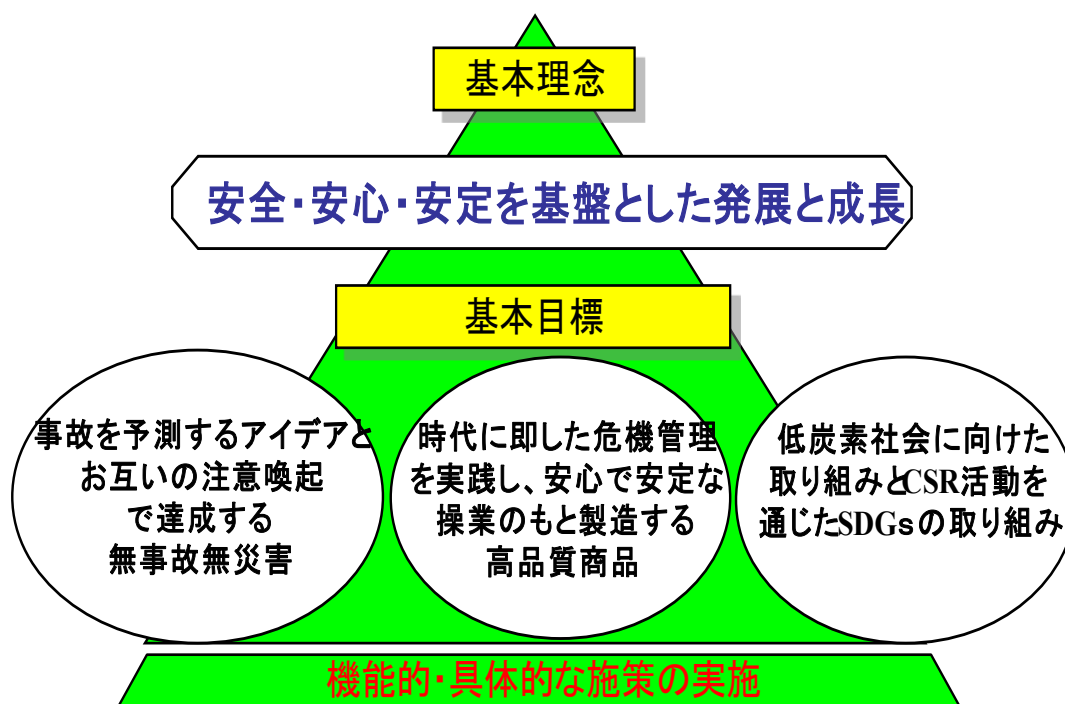
- ① 認証・登録番号 0000031
- ② 認証・登録年月日 2004年11月15日
- ③ 更新・中間審査時期変更後の年月日 2020年9月1日
- ④ 認証・登録事業所名 柏プラネット(柏市廃棄物処理業協業組合)
- ⑤ 対象事業所名 事務所・工場
- ⑥ 所在地 千葉県柏市新十余二7番地8
- ⑦ 事業活動内容 容器包装プラスチック類の選別・加工

### ■3 経営における課題とチャンス の明確化

柏プラネットの経営方針は、安全・安心・安定を基本理念とし、①無事故無災害職場の達成②高品質商品の製造③低炭素社会に向けた取り組みとCSR活動を通じたSDGsへの取り組みの3項目を基本目標に掲げ事業活動を展開しています。

#### 《経営方針》

## 2020 年度 柏プラネット経営方針



1

#### 《課題とチャンス》

事業内容は、主に行政からの委託により、家庭で廃棄物となった容器包装プラスチック類の圧縮梱包事業、発泡スチロール廃棄物の減容固的事业を行っております。

当施設では、年間約5600トンの廃プラスチックを受入れ、選別加工などの中間処理を行い約4700トンを資源化し、行政、事業者のリサイクル事業の一翼を担っております。

環境関連業務に携わる者としては、ea21を通じた低炭素社会の実現に向けた取り組みやCSR活動の取り組みは当然のことと認識しており、こうした取り組みが事業運営の維持・発展におけるビジネスチャンスであるもと確信しています。

今後も柏プラネットは、以下に示して環境経営方針、環境経営目標を着実に実施していくことで、使用エネルギー削減によるCO2やコストの削減に取り組み、ひいてはSDGsに掲げた国際目標に貢献していきたいと考えております。

## ■4 環境経営方針

### < 環境経営方針 >

#### 1. 基本理念

容器包装リサイクル法に則った容器包装プラスチック類の選別、圧縮及び梱包を担っている柏プラネットは、プラスチックのリサイクルを通して、リサイクルが環境に与える影響を認識し、環境負荷軽減並びに環境保全の促進に注力し、地球温暖化対策や資源循環型社会の構築に貢献していきます。

#### 2. 環境経営方針

柏プラネットの環境経営システムの運営にあたっては、次の活動を自主的かつ積極的に推進していきます。

- (1) 柏プラネットの事業活動が、環境に与える影響を的確に捉え、環境に配慮した事業を推進するとともに環境経営システムの継続的改善を図ります。
- (2) 柏プラネットの事業活動に関わる環境関連法規及び柏プラネットが同意するその他の要求事項を遵守します。
- (3) 柏プラネットの事業活動を推進することにより、以下の項目を重点テーマとして取り組みます。
  - ①電力・自動車燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
  - ②分別排出の徹底等による廃棄物排出量の削減
  - ③水資源の効率的活用による総排水量の削減
  - ④グリーン製品の購入
  - ⑤資源循環型社会への貢献
  - ⑥工場内の清潔保持
- (4) 柏プラネットの全従業員が本方針を周知し、その達成に努めます。
- (5) 本方針は、ホームページで一般に公開します。

2020年 4月 1日

代表理事

鈴木 敏

## ■5 2020年度(3カ年)環境経営目標

	環境経営目標	基準年 (2019年度)実績	単位	2020年度	2021年度	2022年度	
				目標値	目標値	目標値	
1	二酸化炭素排出量の削減	184,387	kg-CO <sub>2</sub>	182,543 (-1%)	180,699 (-2%)	178,855 (-3%)	
	電力使用の削減	東京電力エナジーパートナー(株)	3,839	kWh	3,801 (-1%)	3,762 (-2%)	3,724 (-3%)
		(株)まち未来製作所	286,785	kWh	283,917 (-1%)	281,049 (-2%)	278,181 (-3%)
	ガソリン使用の削減	280	ℓ	277 (-1%)	274 (-2%)	272 (-3%)	
	軽油使用の削減	13,365	ℓ	13,231 (-1%)	13,098 (-2%)	12,964 (-3%)	
	ガス使用の削減	129	kg	128 (-1%)	126 (-2%)	125 (-3%)	
2	廃棄物の削減	780	kg	772 (-1%)	764 (-2%)	757 (-3%)	
	残渣の削減(一般廃棄物)	687,890	kg	市に分別徹底要請	市に分別徹底要請	市に分別徹底要請	
3	水使用の削減	461	m <sup>3</sup>	456 (-1%)	452 (-2%)	447 (-3%)	
	地下水使用量の削減	398	m <sup>3</sup>	394 (-1%)	390 (-2%)	386 (-3%)	
4	購入品の推進 エコマーク・グリーン製品、詰替可能製品の優先購入	購入促進	-	継続	継続	継続	
5	環境保全活動等 施設内外の環境維持活動の実施	定期的な実施	-	継続	継続	継続	
	行政との協同	参加・支援	-	継続	継続	継続	
6	化学物質使用量の削減	PRTR制度に該当する化学物質は使用していない					

※1 基準年の排出係数は、平成30年度実績、令和2年1月7日環境省、経済産業省公表、調整後排出係数を使用。東京電力エナジーパートナー(株)0.455kg-CO<sub>2</sub>、(株)まち未来製作所0.513kg-CO<sub>2</sub>。

※2 2019年度以降の電力会社を荏原環境プラントからまち未来製作所に変更した。このため排出係数が大きくなり結果CO<sub>2</sub>の排出量は増加した。

※3 まち未来製作所の数値は、毎月の請求書使用量に毎月メーター計測の事務所分を加算したものの。

※4 化学物質を使用していないため、環境経営目標を設定していない。



## ■6 2020年度 環境経営計画

環境経営目標達成のため具体的な取組内容及び期限

	環境経営目標	具体の取組み内容	期限	
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	冷房28度以上、暖房20度以下の室温管理	通年
			照明灯の小まめな節電	通年
			コンセントを小まめに抜く	通年
			クールビズ、ウォームビズの実施	夏季・冬季
			照明設備のLED化	機器交換時
			空調機器の定期的なメンテナンス	年4回
	ガソリン使用の削減	エコドライブの実施（来客者にも協力を要請、管理用車両、通勤車両への指導）	ノーカーデーの実施（「徒歩」「自転車・バイク」「私用車」に区分し、通勤手段を確認）	通年
			車両点検の実施	通年
			作業車燃料（軽油）の削減	通年
	作業車燃料（軽油）の削減	ショベルカーのアイドリングストップ実施	通年	
		ユンボのアイドリングストップ実施	通年	
		トラックのエコドライブ実施	通年	
		ショベルカー・ユンボ・トラックの車両点検実施	通年	
	ガス使用の削減	炎の出しすぎに注意	給湯器は小まめな開け閉めを	通年
			通年	
2	廃棄物の削減	廃棄物排出量の削減（リサイクル等への取組）	3Rの徹底	通年
			両面コピー・裏紙使用の徹底	通年
			コピー機使用枚数の記録	通年
			詰替え可能商品の優先購入	通年
	残渣の削減	市を通じ市民の分別排出の徹底を呼び掛ける	施設見学者に対し施設事故などを紹介しながら分別徹底の必要性を呼び掛ける	見学时
				通年
3	水削減用の	総排水量の削減（節水への取組）	蛇口の点検・水漏れの防止	通年
			蛇口の小まめな開け閉め	通年
			洗車、床洗浄時の節水	通年
4	購入の推進	エコマーク・グリーンマーク製品の優先購入	エコマーク・グリーンマーク表示等のある環境配慮商品の選択	通年
			詰替え可能な商品を優先購入	通年
5	環境保全活動等	施設内外の環境維持活動の実施	施設内外の定期的な清掃の実施	通年
			随時、樹木の剪定及び最小限の薬剤散布	5, 6月
			年1回、騒音、臭気、水質などの環境測定の実施	2月
	行政との協同	施設見学者の積極的な受入れ	環境保全協定事業の推進、環境イベントへの参加、支援	通年
			通年	
6	化学物質使用量の削減			

## ■7 環境経営目標に対する実績と評価

	環境経営目標		単位	2020年度		比較 (%)	評価
				目標値	実績値		
1	二酸化炭素排出量の削減		kg-CO <sub>2</sub>	182,543	172,752	-5.4	達成
	電力使用 の削減	東京電力エナジーパートナー(株)	kWh	3,801	3,516	-7.5	達成
		(株)まち未来製作所	kWh	283,917	266,710	-6.1	達成
	ガソリン使用の削減		ℓ	277	210	-24.2	達成
	軽油使用の削減		ℓ	13,231	12,942	-2.2	達成
	ガス使用の削減		kg	128	150	17.2	未達
2	廃棄物 の削減	廃棄物排出量の削減	kg	772	950	23.1	未達
		残渣の削減(一般廃棄物)	kg	市に分別徹底要請	市に分別徹底要請	—	—
3	水使用 の削減	上水使用量の削減	m <sup>3</sup>	456	505	10.7	未達
		地下水使用量の削減	m <sup>3</sup>	394	341	-13.5	達成
4	のング 推購リ 進入↓	エコマーク・グリーンマーク製品の優先購入 詰替可能製品の優先購入	-	継続	継続	—	—
5	環 境 の 保 全 推 進 活 動	施設内外の環境維持活動の実施	-	継続	継続	—	—
		行政との協同	-	継続	継続	—	—
6	化学物質使用量の削減						

## ■8 評価に対する次年度の取り組み

環境経営目標		次年度の取り組み
1	二酸化炭素排出量の削減	<p>電力使用に関しては、削減対策などの取組みにより目標値に対し-6%を達成した。また軽油使用では、ショベルローダーを新型車両に切替えたことなどにより同一-2%であった。しかしながらガス使用では、コロナ感染防止対策として手洗いやシャワー使用が増加し17%増加した。</p> <p>CO2全体としては、影響の大きい電力、軽油使用量の削減が図れたことで、目標値に対し-5%となった。</p> <p>次年度も基本的には環境経営計画に基き省エネ対策に取り組んでいくこととし、特に電力使用量の多い工場部門における省エネ機器の導入や業務の効率化などについても積極的に推進していく。</p>
	電力使用の削減	
	東京電力エナジーパートナー(株) (株)まち未来製作所	
	ガンリン使用の削減	
	軽油使用の削減	
	ガス使用の削減	
2	廃棄物の削減	<p>これまでビン・カン・紙類の資源品を除いていたが、今年度からそれらを含めた計量値としたため、結果として目標値に対し23%の増加となった。実際の発生量は変化していない。次年度も3Rの取組みを徹底するなどし、廃棄物の削減に取り組んでいく。</p>
	残渣の削減(一般廃棄物)	<p>年間約5600t搬入される容器包装プラスチックの内、機械選別、手選別によりその他プラ、ビン、カン、PETボトルなどの残渣は約700t発生している。残渣の中には、バッテリーやライター、さらには医療系の廃棄物など危険物も多く含まれている。こうしたことから今後も引き続き市に対し、市民の分別徹底を要請していく。</p>
3	水使用の削減	<p>コロナ感染症対策として、うがい、十分な手洗いの励行、シャワー使用の増加などにより、上水の使用水量が増加し、目標値に対し約11%増加した。次年度もコロナ対策とともに節水対策に努めていく。</p>
	地下水使用量の削減	<p>洗車、ヤード洗浄時の水使用を削減し目標値に対し約14%削減できた。次年度も引き続き施設洗浄や洗車など地下水使用の削減対策を推進する</p>
4	グリーン購入の推進	<p>エコマーク・グリーン製品の優先購入 詰替可能製品の優先購入</p> <p>年間に購入する消耗品類の内、トイレトーパーやペーパータオルなどの紙類、作業服は全て再生品を使用している。また洗剤なども詰替え商品を購入している。次年度もこうした取組みを徹底していく。</p>
5	環境保全活動等の推進	<p>施設内外の環境維持活動の実施</p> <p>年間を通じた施設内外の除草作業の実施。初夏にかけての樹木の剪定、消毒、2月頃に工場の騒音、臭気、水質の環境測定を実施している。次年度も同様に行っていく。</p>
	行政との協同	<p>コロナの影響で施設見学や環境イベントは殆ど無くなった。次年度以降、コロナが落ち着けば行政と連携し市民への啓発活動などを推進していく。</p>
6	化学物質使用量の削減	

## ■9 環境負荷の状況

項目		単位	2020年度		2021年度		2022年度	
			量	CO2排出量 kg-CO2	量	CO2排出量kg -CO2	量	CO2排出量 kg-CO2
エネルギー使用量	東京電力エナジーパートナー(株)	kwh	3,516	1,600				
	(株)まち未来製作所	kwh	266,710	136,821				
	ガソリン	ℓ	210	488				
	軽油	ℓ	12,942	33,392				
	LPG	kg	150	451				
	CO2合計			172,752				
受託した一般廃棄物、再生資源等の処理量等	収集運搬量	t	0					
	中間処理量	t	5,584					
	内再資源化等量	t	4,725					
	中間処理後の一廃の処分量	t	661					
一般廃棄物総排出量		kg	662,090					
産業廃棄物総排出量		kg	0					
水使用量	上水	m <sup>3</sup>	505					
	工業用水	m <sup>3</sup>	0					
	地下水	m <sup>3</sup>	341					
化学物質使用量			使用せず					

## ■10 受託した廃棄物等の処理実績

(1) 搬入内訳 2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)

項目	搬入量 t
容器包装プラスチック	5,507
ペットボトル	8
発泡スチロール	69
計	5,584

(2) 中間処理実績 2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)

	中間処理項目	処理後の取扱	処理量 t
再資源化量	容器包装プラスチック圧縮梱包品	容器包装リサイクル法による再商品化	4,653
	ペットボトル梱包品	再生原料 (売却)	8
	発泡スチロールインゴット品	再生原料 (売却)	64
	計		4725
残渣量	容器包装プラスチック残渣 不燃物	柏市クリーンセンターにて処理	17
	容器包装プラスチック残渣 可燃物	柏市クリーンセンターにて処理	625
	PETボトル残渣	柏市リサイクルプラザにて再処理	19
	計		661

## ■ 11 地域融和（環境活動の紹介）

柏プラネットは、「見学者への積極的な対応」を環境方針の一つに掲げ、児童・生徒及び各地域の町会・自治会などの施設見学を積極的に受入れています。2020年度の見学者は、コロナ感染症の影響により、高校1校2名でした。

また、当施設が所在する企業で設置している「十余二工業団地連絡協議会」の一員(事務局)として、工業団地内企業間の連絡調整や地元町会との会合などを通して、地域との融和を図っています。

さらに、今年度はコロナ対策の関係で中止となりましたが、地元小学校が開催しているバザーなどへの出品、柏市が主催するリサイクルフェアへ出展し、容器包装プラスチックごみに関する啓発活動を行っています。

## ■ 12 環境関連法規等への遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 当組合に該当する環境関連法規は次のとおりです。

1、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」 2、「フロン排出抑制法」 3、「オフロード法」 4、「水質汚濁防止法」5、「振動規制法」 6、「騒音規制法」 7、「悪臭防止法」 8、「柏都市計画特定下水道条例」9、「消防法」 10、「計量法」 11、「電気事業法」 12、「労働安全衛生法」 13、「道路運送車両法」 14、「貨物自動車運送事業法」 15、「道路交通法」 16、「柏市環境保全条例」 17、「家電リサイクル法」 18、「自動車リサイクル法」 19、「NOx・PM法」 20、「千葉県ディーゼル条例」 21、「グリーン購入法」 22「小型家電リサイクル法」

### (2) 違反、訴訟等の有無

2020年4月1日及び2021年3月31日に遵守状況について確認を行いました。環境関連法規への違反はありませんでした。また、関係当局より違反等の指摘はありません。

## ■ 13 代表による全体評価と見直しの結果

エコアクション21の取り組みも17年目を迎え、全従業員の環境活動への姿勢や行動において、環境意識が醸成されております。

今年度は新型コロナウイルスの感染防止対策として、従業員の手洗い、消毒、換気等を徹底いたしました。特に、直接ごみに触れる手選別作業員は、シルバー人材センターから派遣された高齢者が従事していることから、感

染防止対策を強化いたしました。このため、水道水及びガスの使用量(水道約10%、ガス約20%)が増加しました。

環境経営目標に対する実績では、CO2の排出に直結するエネルギー使用量は、ガスを除き電力、ガソリン、軽油全ての項目で目標を達成いたしました。

今後は、これまでとおり2021年度環境経営計画を着実に推進しCO2の削減に取り組んでいくとともに、当面の間は、感染者を出さないようコロナ感染症対策に万全を期して参ります。



認定番号0000031



®環境省

エコアクション21